

(別記)

令和5年度金沢市農業活性化協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市の水田は、全体の約65%が湿田又は半湿田で占められていることから、水田利用については、水稲の単作が中心となっている。

転作作物の作付けの内訳としては、非主食用米が59%、野菜類23%、果樹6%、花き2%の順となっており、土地利用型の麦・大豆等の作付けがほとんどみられない。

主食用米の需要が減少する中、他の作物への転換を促進することが必要であるが、湿田率が高いこともあり、転作作物の作付けが伸びず、保全管理や調整水田等が多くなっているのが現状である。また、中山間地域については、農業者の高齢化に加え、鳥獣被害が増加していることにより、営農意欲の減退や離農が深刻化している。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本市においては、大規模農家や農業法人等の担い手だけではなく、兼業農家や高齢農家など多様な経営主体が存在している。認定農業者や集落営農組織など地域の農業を支える担い手への集積、集約化を推進するとともに、金沢農業大学校修了生など新規就農希望者への就農支援により、多様な担い手の育成、確保を図る。

また、非主食用米や高収益作物の導入、拡大により、消費者や実需者の多様なニーズに即した売れる農作物づくりを進めるとともに、加賀野菜、金沢そだち等の金沢ブランド農産物の栽培面積の拡大や安定生産により、水田農業における収益力の強化を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

地域の実情に応じた畑地化を進めるため、「人・農地プラン」で描かれる地域の将来像に配慮しながら、地域の担い手、関係団体との連携を密にし、畑地化の取組を進めることができるよう水稲を組み入れない作付体系が定着している地域を把握し、畑地化に係る支援内容の情報提供を行っていき、畑地化支援を活用した畑地化や地域におけるブロックローテーション体系の構築を検討する。

4 作物ごとの取組方針等

市内の2,870haの水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

生産基準数量の範囲内で最大限生産する。

多様な需要に対応し、石川県オリジナルブランド米「ひゃくまん穀」や「ゆめみづほ」等2次銘柄品種の作付けを拡大するとともに、うまい・きれい金沢産米づくり運動の推進による「売れる米づくり」を展開する。また、直播栽培や農地集積の推進などにより、省力・低コスト化を図っていく。

(2) 備蓄米

備蓄米は、主食用米と同一品種で取組めるため、中・小規模の農業者でも対応が容易であることから、生産枠の確保を図り、作付けを進める。

(3) 非主食用米

非主食用米は、現有の機械装備が活用できることから、品目毎の需要に応じて、最大限に作付けを推進する。

ア 飼料用米

多収品種の導入推進を図る。また、安定的な需給体制を構築するため、複数年契約を推進する。

イ 米粉用米

多収品種の導入推進を図る。また、安定的な需給体制を構築するため、複数年契約を推進する。

ウ 新市場開拓用米

海外における日本米需要が年々高まっていることから、輸出先での販売動向等を踏まえ、作付を拡大する。また、安定的な需給体制を構築するため、複数年契約を推進する。

エ 加工用米

加工用米は、主食用米と同一品種で取組めるため、中・小規模の農業者でも対応が容易であることから、生産枠の確保を図り、作付けを進める。また、安定的な需給体制を構築するため、複数年契約を推進する。

(4) 麦、大豆

排水不良など土壌条件等により、品質や収量に課題が見られ、市内における麦、大豆の作付けは限られている。このため、品質・収量の安定化を推進し、担い手へ集積を進めながら、作付けの維持及び段階的な拡大を検討する。

(5) そば

中山間地域を中心に生産の拡大、産地化を推進していく。

(6) 地力増進作物

作物の単収の回復及び増加を目的に、地力増進作物の導入を推進していく。

(7) 高収益作物

ア 産地戦略作物

水稻農家や集落営農組織でも取組みやすく、機械化対応が可能である「ねぎ」「かぼちゃ」「ブロッコリー」「たまねぎ」の4品目のほか、加賀野菜15品目のうち、たけのこを除く14品目（れんこん・金時草・くわい・加賀つるまめ・せり・ヘタ紫なす・金沢一本太ねぎ・赤ずいき・さつまいも・源助だいこん・金沢春菊・二塚からしな・加賀太きゅうり・打木赤皮甘栗かぼちゃ）を産地戦略作物と位置づける。近年、高齢化による離農や市街化による作付面積の減少が課題となっているため、農協や関係団体と連携して、生産量の維持・拡大、担い手の育成を図る。また、希少8品目（くわい・加賀つるまめ・せり・ヘタ紫なす・金沢一本太ねぎ・赤ずいき・金沢春菊・二塚からしな）については、後継者育成や技能の伝承を推進し、重点的に生産を振興する。

イ その他地域振興作物

「金沢そだち」の5品目（だいこん・なし・すいか（すいか・小玉すいか）・トマト・きゅうり）、じねんじょ、キク、コギク、さといも、葉ボタン、フリージア（エアリーフローラ）、ルビーロマン、ストックを地域振興重点作物に位置づけ、生産の拡大を図る。また、農業者の高齢化による離農や市街化による作付面積の減少が課題となっているが、JAなどの直売所により、少量でも販売できる環境が整備されていることから、適地適作を基本に、地域の実情に合わせた作物の生産拡大を図り、農家所得の向上を図る。

ウ 中山間地域

高収益作物の転作を推進する。

エ 不作付地の解消

現行の不作付地（72ha）について、高収益作物の作付けによる解消に努める。

5 作物ごとの作付予定面積等

別紙のとおり

6 課題解決に向けた取組及び目標

別紙のとおり

7 産地交付金の活用方法の概要

別紙のとおり

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

| 作物等 | 前年度作付面積等 | | 当年度の作付予定面積等 | | 令和5年度の作付目標面積等 | |
|-----------------------|----------|-----------|-------------|-----------|---------------|-----------|
| | | うち 二毛作 | | うち 二毛作 | | うち 二毛作 |
| 主食用米 | 1,851.8 | | 1,805.2 | | 1,800.0 | |
| 備蓄米 | 17.4 | | 17.4 | | 20.0 | |
| 飼料用米 | 40.3 | | 60.0 | | 60.0 | |
| 米粉用米 | 22.7 | | 22.8 | | 24.0 | |
| 新市場開拓用米 | 2.4 | | 2.4 | | 3.4 | |
| WCS用稲 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| 加工用米 | 16.1 | | 16.1 | | 25.0 | |
| 麦 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| ・大麦 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| ・小麦 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| 大豆 | 0.0 | | 0.0 | | 1.0 | |
| 飼料作物 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| ・子実用とうもろこし | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| そば | 0.2 | | 0.2 | | 0.2 | |
| なたね | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| 地力増進作物 | 3.9 | | 3.9 | | 1.8 | |
| 産地戦略作物 | 20.9 | 0.0 | 24.0 | 0.0 | 21.6 | 0.0 |
| ねぎ | 1.8 | | 2.1 | | 2.4 | |
| かぼちゃ | 1.0 | | 1.5 | | 0.6 | |
| ブロッコリー | 0.9 | | 1.0 | | 1.2 | |
| たまねぎ | 0.0 | | 0.3 | | 0.1 | |
| 知事特認作物 | 17.2 | 0.0 | 19.1 | 0.0 | 17.3 | 0.0 |
| ・野菜 | 17.2 | | 19.1 | | 17.3 | |
| ・雑穀 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| ・その他 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| 高収益作物 | 30.4 | 0.0 | 40.8 | 0.0 | 34.3 | 0.0 |
| ・野菜 | 17.8 | | 24.9 | | 19.0 | |
| ・花き・花木 | 3.0 | | 4.10 | | 4.0 | |
| ・果樹 | 9.6 | | 11.80 | | 11.3 | |
| ・地域で設定した高収益作物 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| 地域振興作物等 ※産地戦略作物を除く | 14.6 | 0.0 | 13.1 | 0.0 | 15.3 | 0.0 |
| ・雑穀 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| ・景観形成 | 14.0 | | 12.0 | | 15.0 | |
| ・その他 | 0.6 | | 1.1 | | 0.3 | |
| 畑地化 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

6 課題解決に向けた取組及び目標

| 整理 番号 | 対象作物 | 用途名 | 目標 | 前年度（実績） | 目標値 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------|------------------|------------------|---------------------|
| | | | | | |
| 1 | 産地戦略作物 (ねぎ、かぼちゃ、ブロッコリー、たまねぎ、加賀野菜) | 産地戦略作物助成 | 作付面積 | (2022年度) 19.8 ha | (2023年度) 21.6 ha |
| 2 | 地域振興重点作物 (だいこん、すいか、じねんじょ、さといも、なし、キク、トマト、きゅうり、葉ボタン、フリージア、ルビーロマン、ストック) | 地域振興重点作物助成 | 作付面積 | (2022年度) 9.3 ha | (2023年度) 9.7 ha |
| 3 | 地域振興作物 (交付対象作物一覧のとおり) | 地域振興作物助成 | 作付面積 | (2022年度) 17.0 ha | (2023年度) 19.1 ha |
| 4 | 加賀野菜希少品目 (加賀つるまめ、ヘタ紫なす、せり、金沢一本太ねぎ、二塚からしな、赤ずいき、くわい、金沢春菊) | 加賀野菜希少品目加算 | 作付面積 | (2022年度) 1.7 ha | (2023年度) 1.5 ha |
| 5 | 産地戦略作物、 地域振興重点作物、 地域振興作物 | 中山間地域加算 | 作付面積 | (2022年度) 7.4 ha | (2023年度) 8.1 ha |
| 6 | 産地戦略作物、 地域振興重点作物、 地域振興作物 | 不作付地解消加算 | 不作付地解消 | (2022年度) 0.4 ha | (2023年度) 0.6 ha |
| 7 | そば | そば作付助成 | 取組面積 | (2022年度) 0.2 ha | (2023年度) 0.2 ha |
| 8 | 新市場開拓用米 (輸出用米等) | 新市場開拓用米 (輸出用米等) 作付助成 | 取組面積 | (2022年度) 2.2 ha | (2023年度) 0.6 ha |
| 9 | 産地戦略作物 地域振興重点作物 | 担い手加算 | 集積面積 | (2022年度) 22.0 ha | (2023年度) 24.1 ha |
| 10 | 新市場開拓用米 (輸出用米等) | 複数年契約加算 | 複数年契約 取組面積・数量 | (2022年度) 0ha・0t | (2023年度) 0.1ha・0.5t |
| 11 | 地力増進作物 (フェアリーベッチ) | 地力増進作物作付助成 | 取組面積 | (2022年度) 3.9ha | (2023年度) 1.8 ha |

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 石川県

協議会名: 金沢市農業活性化協議会

| 整理番号 | 使途 ※1 | 作期等 ※2 | 単価 (円/10a) | 対象作物 ※3 | 取組要件等 ※4 |
|------|----------------------------|-----------|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 1 | 産地戦略作物助成 | 1 | 19,600 (上限40,000円/10a) | ねぎ、かぼちゃ、たまねぎ、ブロッコリー、加賀野菜14品目(れんこん、金時草、くわい、加賀つるまめ、せり、ヘタ紫なす、金沢一本太ねぎ、赤ずいき、金沢春菊、二塚からしな、さつまいも、源助だいこん、加賀太きゅうり、打木赤皮甘栗かぼちゃ) | 作付面積に応じて支援 |
| 2 | 地域振興重点作物助成 | 1 | 19,600 (上限40,000円/10a) | だいこん、すいか、じねんじょ、さといも、なし、キク、コギク、トマト、きゅうり、葉ボタン、フリージア(エアリーフローラ)、ルビーロマン、ストック | 作付面積に応じて支援 |
| 3 | 地域振興作物助成 | 1 | 6,300 (上限15,000円/10a) | 地域振興作物(別紙3交付対象作物一覧野菜等60品目、花き25品目、花木18品目、果樹12品目) | 作付面積に応じて支援 |
| 4 | 加賀野菜希少品目加算 | 1 | 27,500 (上限50,000円/10a) | 加賀つるまめ、ヘタ紫なす、せり、金沢一本太ねぎ、二塚からしな、赤ずいき、くわい、金沢春菊 | 作付面積に応じて支援 |
| 5 | 中山間地域加算 | 1 | 3,900 (上限8,000円/10a) | 別紙3交付対象作物一覧 146品目 | 作付面積に応じて支援 |
| 6 | 不作付地解消加算 | 1 | 14,100 (上限30,000円/10a) | 別紙3交付対象作物一覧 146品目 | 作付面積に応じて支援 |
| 7 | そば作付助成 | 1 | 0 (上限20,000円/10a) | そば | 作付面積に応じて支援 |
| 8 | 新市場開拓用米(輸出用米等)作付助成 | 1 | 0 (上限20,000円/10a) | 新市場開拓用米(輸出用米等) | 作付面積に応じて支援 |
| 9 | 担い手加算 (産地戦略作物・地域振興重点作物) | 1 | 0 (上限40,000円/10a) | 別紙のとおり | 出荷・販売を行った担い手に対して取組面積に応じて支援 |
| 10 | 複数年契約加算 (新市場開拓用米) | 1 | 0 (上限10,000円/10a) | 新市場開拓用米 | 複数年契約に取組む農業者に対して作付面積に応じて支援 |
| 11 | 地力増進作物作付助成 | 1 | 0 (上限20,000円/10a) | 地力増進作物(フェアリーベッチ、マリーゴールド) | 作付面積に応じて支援 |
| | | | ※単価は実際の取組状況によって変動する。 | | |

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。